

■日時 平成26年8月21日(木) ■天候 晴れ

千葉県立市川工業高校 対 天理高校

■球場 江戸川区球場 第3試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 2時間10分 ■備考 8回コールド

■審判 球審:進士 塁審:菊池 竹本 山田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理	近畿・奈良	0	1	1	1	1	0	0	6		10	8	1
市川工	千葉	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3

天理

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	8				
1	右	吉岡京助	5	2	1	0	二ゴ		一失	左飛		中2		振逃					
2	三	浅井慎太郎	2	1	0	0	死球		二ゴ	三振		四球		四球					
3	左	森口晴信	5	1	1	1	中飛		左2		三ゴ	遊ゴ		三ゴ					
4	遊	餘目航	5	1	2	2	投ゴ		二飛		右3		右飛	左安					
5	捕	三好完太	4	1	1	1		四球	三ゴ		中安		捕邪	投ゴ					
6	二	奥村陽太郎	5	2	2	2		二安		三失	二ゴ		三ゴ	中2					
7	投	辰己優貴	4	1	0	0		三ゴ		遊選	三邪					四球	三振		
8	一	氏家次男	2	1	0	1		右犠		四球		三ゴ		一失					
9	中	奥谷公紀	3	0	1	2		三振		死球		中飛		二安					
合計			35	10	8	9	残塁:9 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
辰己優貴

捕手
三好完太

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
辰己優貴	8	25	0	9	0	0

市川工

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	中平嘉貴	3	0	0	0	三振		三ゴ			投ゴ							
2	二	近藤真澄	3	0	0	0	二ゴ			二飛			二ゴ						
3	投	馬場有希	3	0	0	0	二ゴ			遊ゴ			中飛						
4	捕	村松正悟	3	0	0	0		三飛		三ゴ			三振						
5	一	菅原優人	3	0	0	0		二ゴ			三振			三振					
6	中	相模武	3	0	0	0		遊ゴ			右飛			捕飛					
7	三	三橋拓未	3	0	0	0			二失		三振			三振					
8	右	鈴木優矢	2	0	0	0			三振			三邪							
9	左	佐藤寿大	2	0	0	0			三振			三振							
合計			25	0	0	0	残塁:1 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
馬場有希
近藤真澄
村松正悟

捕手
村松正悟
菅原優人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
馬場有希	4 1/3	23	4	2	4	2
近藤真澄	3	17	3	1	3	1
村松正悟	2/3	3	1	1	0	0

■戦評

江戸川球場の準決勝は午前中に同球場で行われた準々決勝をともにコールド勝ちした市川工業高校と天理高校の顔合わせとなった。前回大会準決勝で敗れた市川工業のリベンジなるか。それとも天理が勝って8連覇へ王手を掛けるのか。市川工業は1・2回戦で先発した左腕馬場に天理はここまで全試合に先発している主戦辰己にマウンドを託した。天理は2回一死一三塁の好機に8番氏家が犠飛を打ち手堅く1点を先制すると3回には敵失で出塁した走者を二塁に置き3番森口の適時安打で1点を上げ試合の主導権を握る。さらに4回に押出で5回に5番三好の適時安打で1点ずつを追加し4-0と徐々に点差を開いていく。反撃を試みたい市川工業は3回先頭の三橋が敵失で出塁すると二盗を決め無死二塁の好機を作ったが無得点に終わるとそれ以外天理先発辰己の前に一人の走者も出せず完璧に抑え込まれる。4回途中から救援した市川工業2番手近藤に無得点に抑えられていた天理は8回先頭の8番辰己の四球から相手のミスも重なり2点を奪うと4番餘目の適時安打で2点を追加する。さらに市川工業3番手村松から6番奥村が2点適時二塁打を打ちこの回計6点を奪い試合を決めた。主戦辰己が8回無安打9奪三振と完璧な投球を見せ投打で圧倒した天理がいよいよ8連覇へあと一つと迫った。一方天理の前に最後は力尽き大敗となった市川工業ではあったが馬場と近藤の両一年生投手の制球の良い投球とそれを引き出す主将村松の好リードを中心とした野球は全国三位の名にふさわしいものでありまた主将以下チームワークの良さが2年連続第三位という安定した結果に結びついたことは言うまでもないだろう。